



モデルバーン施設内部の一般公開について（お知らせ）

下記のとおりお知らせしますので、[施設紹介の報道等](#)をお願い申し上げます。

施設公開の概要

- 「札幌農学校第2農場」（通称：モデルバーン）は、冬期間の休館を終え、下記により模範家畜房と穀物庫の屋内を一般公開します。なお、建物外観や前庭は、通年公開です。
日程：4月29日(金)～11月3日(木)（毎日10時～16時、各月第4月曜日休館、入場料無料）
場所：北大札幌キャンパス内、エルムトンネルのほぼ直上（札幌市北区北18条西7丁目）
※地下鉄南北線北18条駅より西方向に徒歩6分
- 前庭には、北国に春を告げる「キバナノアマナ」の群落があり、例年4月下旬からいっせいに開花しはじめ、黄色い星が点々と地面にまかれている様子は、はっとするほど綺麗な眺めです。

施設と展示の概要

- 「札幌農学校第2農場」は、クラーク博士の大農経営構想により、明治10年に建築した模範家畜房（モデルバーン）や穀物庫（コーンバーン）を始めとするわが国最古の洋式農業建築群を揃え、ここから日本畑作・酪農の技術普及が進んだため、国の重要文化財、北海道産業遺産などに指定されています。なお、牝牛舎、種牛舎など7棟は、当面、建物外観のみの公開です。
- 当公開施設内には、日本全国の鋤、開拓使顧問ケプロンが明治6年までに輸入したアメリカ製畜力農具、札幌農学校が明治30年までに揃えた大規模酪農経営体の洋式高性能農具などを展示し、これらを見本にして国内の農機具産業が育ちました。
- 「キバナノアマナ」(アイヌ語:チカプトマ)は、ユリ科キバナノアマナ属の多年草で、北海道・本州中部以北の山野に自生しますが、開拓によって大きな群落が減少しています。地下に10～15mmほどの鱗茎(球根)があり、早春に葉と同時に花茎を形成し、根出葉は線形で厚ぼったくて柔らかいものです。4月の終わり頃から5月にかけて、花茎の先端に数個～10個の花を咲かせます。開花直後の花は黄緑ですが、やがて黄色になります。和名で黄花甘菜と書き、名の通り甘くて山菜としても知られます。

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館
博物館担当 成田 佳子
TEL: 011-706-2658 FAX: 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

